

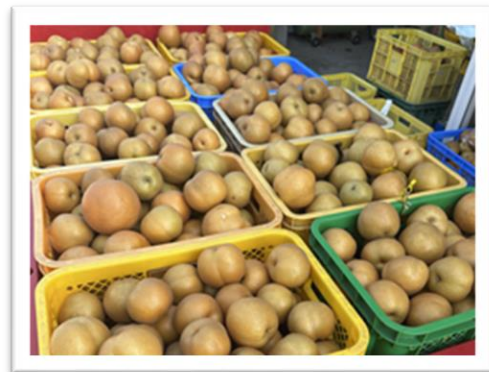
9月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
梨栽培の担い手 石原 恭

行った主な活動

収穫作業

8月の幸水から品種が移り変わり、豊水・恵水・あきづき・二十世紀といった梨の収穫を行った。品種によって果実の色の付き方や大きさ、触感などが異なるため、その日に収穫するのか、もう少し待つのかをそれぞれの判断基準で見極める必要があった。



農産物直売所への出荷

8月に引き続き、朝に収穫した梨を袋詰めし、市内の直売所へ出荷をした。品種も増えたことで、お客さんからそれぞれの味の違いについて質問される機会が多くあった。その際に自分なりに言葉を選んで説明するよう努めとことが品種ごとの特徴をどう伝えればよいか考える良い経験になった。



活動を行った感想など

出荷では、品種ごとの特徴をお客さんにうまく伝える難しさを実感した。まだ表現に迷うことが多く、今後は味わいや特徴を整理して伝えられるよう工夫したいと思った。

収穫作業では、色や大きさをよく観察しながら判断することの難しさを感じた。師匠の判断と自分の感覚の違いを学びながら、少しずつ見極める力を磨いていきたい。

今後の目標など

まだ暑い日も続くため、体調管理を怠らず、最後まで丁寧な収穫・出荷を続けていきたい。

